

LeySer Connect

〈学費管理〉システム

〈学費管理〉プラス

## 毎朝の「欠席電話」と複雑な「就学支援金」の課題は解決。 用途を広げ、さらなる業務改善も期待。

学校法人 八千代松陰学園  
八千代松陰中学校・高等学校 様

就学支援金などの学納金管理、欠席連絡の電話対応、なんとかしたいと思っていた2つの課題をレーザーでどちらも解決できると確信。学校にとって初のクラウドシステムとなる〈学費管理〉システムで実績を積んだから保護者連絡ツールの LeySer Connect を導入。



<https://www.yachiyoshoin.ac.jp/>

### 01 毎朝、欠席連絡の電話対応に追われていました。

#### Connect 導入前の欠席連絡の受付について教えてください。

中学と高校が同じ敷地内にあるので事務室もひとつです。生徒数は中高あわせて 2,700 名以上で、欠席や遅刻など朝の受電は毎日 100 件ほどあります。インフルエンザなど感染症が流行る時期だと 200 件近くにもなります。朝、受付時間になった途端から電話がずっと鳴り続けている状態ですね。7 回線を 7~10 名で対応していましたが、朝の連絡時間は決まっているのでどうしてもなかなか繋がらないということになってしまい、電話口で保護者の方に「やっとつながった」と言われることも多かったです。

#### 受けた欠席連絡を担当の先生にどのように共有されていたのでしょうか？

3 年ほどは Access を使っていました。受電内容を入力することで役職以上の先生方にメール送信され、メールを受信した先生が学年ごとにソートして紙に印刷して職員室に貼り、それを各先生が確認しに行くことになっていました。それ以前はさらにアナログで、受電内容を用紙に書き、時間になったら職員室から先生がその用紙を回収しに来るという形でした。

#### 電話対応でご苦労されたことは？

正確に情報を聞き取ることですね。生徒が 3,000 人近くもいるため、同姓同名の生徒もあり、生徒名簿と照合して間違いがないか確認する必要がありました。中学か高校かの確認からはじまり、クラスも A-1 組、B-1 組など複雑なので保護者がクラスを覚えていないときは、担任名やクラブなど照合できる情報を聞き取りすることに時間を費やすことも多々ありました。

## 02 保護者から欠席連絡アプリのリクエストが増えてきました。

### 電話連絡の見直しをされるきっかけはなんでしたか？

保護者から電話口で「電話でしか受け付けてもらえないのか？」と聞かれることが年々増えてきていました。保護者の方にとっては、保育園や幼稚園、また公立小学校でさえアプリ連絡を使っていたのに、私立の中学・高校で電話連絡なのかと思われていたのでしょう。学校評価アンケートで、こういう連絡アプリがあると書いてくださる保護者もいました。

事務室内では電話対応が当たり前だったので、特に変えたいという声があがっていたわけではありませんでした。ただ、コロナやインフルエンザが流行った際は職員も感染してしまい、2人しか出勤できないということがありました。その時は、職員室の先生方にも電話対応を手伝っていただいたのですが、このスタイルを継続するのに限界を感じました。

また、Accessは事務室で入力だけはできますが、設定担当の職員が不在の時に誰かあれば誰も操作できず業務が停滞するので、属人化はよくないと思っていました。



欠席連絡のシステム化を推進された  
事務主任の堤様

自分も保護者の立場で、朝の決められた時間内に学校へ電話するのは大変という経験があります。時間を選ばず連絡できる方法が必須だと感じていました。

## 03 学費システムも替えたかったので、先に学費から着手しました。

### レーザー製品はどのように知っていただいたのでしょうか？

欠席連絡もですが、まずは学費の就学支援金の管理をなんとかしたいと思っていました。当時使っていたシステムは就学支援金に対応していなかったため、自分たちでExcelやAccessを用いて別途管理することで対処していましたが、受給者台帳から情報を吸い上げられたらいいなと思っていました。

前任のときから何度か営業に来られていたメシウスさんのことは知っていたのと、〈学費管理〉システムのDMも送付していただいていたので、当時はきちんとは見ていなかったものの、確か「就学支援金に対応」と書いてあったことを思い出し、連絡してみることにしました。

それであらためて〈学費管理〉システムの説明に来られた際に、Connectも紹介していただきました。学費と欠席連絡どちらも課題があったので、学費がうまく導入できれば欠席連絡のほうも解決する流れができるのではないかと思います。

### 他社の学費システムと比較検討されましたか？

いえ、していません。国のルールが変わるものをシステム化するのは大変なのでしょうね、他で「就学支援金」についてうたっているシステムはあまりないようでした。メシウスさんは「就学支援金に対応」と明確にされていたので、お話を聞いたらメシウスさんからと思っていました。説明をお聞きして、やりたいことを実現する機能が備わっていると確認できたので導入を決めました。

### 段階的な業務改善を計画されたのですね？

はい、まずは1年間〈学費管理〉システムを運用してうまくいけば、信頼できる会社の信頼できる製品だと先生方にも証明できるので、それから Connect の導入についても事務長に相談していかうと考えていました。

〈学費管理〉システムにおいては、支援金の結果通知が出せた、年度末の預り金の個別計算の手紙が出せた、この2点で使っていけると確信しました。

### 欠席連絡についても他社製品と比較されなかったのでしょうか？

学費がうまくいったので、このまま同じ会社のものを使いたいと思いました。教務システムに紐づく形で欠席連絡機能がついているものは数多くありましたが、確実に連絡を受け取れることを重視し、生徒数が多いことから従量課金制ではないサービスが適していると判断しました。

## 04 変化することへの反対はつきものですが、進化は大事です。

### Connect 導入にあたり懸念点や反対の声はありましたか？

先生から電話受付を続けてほしいとの声はもちろんありました。電話であれば様子がおかしいなど察知ができるという理由でしたが、朝の電話ラッシュ時に一人に時間をかけて対応するのは難しいのと、先生方の朝礼の時間帯には担任に電話を取り次ぐこともできないので、電話である必要性はないという結論に至りました。

原則生徒からの欠席連絡は受け付けないので、電話であれば生徒がかけてきたら保護者に代わってもらう、保護者が傍にいないようなら担任の先生に電話をまわすか折り返しとしていました。なので一番の懸念は、アプリ連絡だと本当に保護者からかどうか判断がつかないという点でした。Connect は欠席連絡の機能は保護者しか使えないように設定できるので、信じて使ってみるということになりました。



## 新しいことをするには計画性と旗振り役が必要ということですね？

欠席連絡の方法を変えるというのは学校にとっては大きな変化なので、新しいことへの不安はつきものですが、変化を恐れて何もしなければ時代に取り遅れ、業務改善も実現できません。公立でも取り入れているのに遅すぎるくらいでしょうし、保護者の立場でアプリでの欠席連絡を経験している先生方も多いため電話対応の見直しを歓迎する声もありました。

クラウドシステムは、〈学費管理〉システムがはじめてだったのですが、問題ないというのがわかってもらったので、クラウドでデータ管理することに対する拒否感がなくてハードルが下がっていたのはよかったです。

## 05 Connect は機能が多いため欠席連絡以外にも利用しています。

### Connect のお知らせ機能はご利用ですか？

はい。休校のお知らせなど緊急のものや重要なものは紙を配布していますが、それ以外の学園通信などはネット掲示板のようなシステムを 20 年以上利用してきました。そのネット掲示板の利用はやめて、今後は Connect 一本にする予定です。



学園通信を担当されている  
教務部長の鳥山先生

部長や主任だけがお知らせ配信できるよう制御しています。校外学習で道路状況で帰りが遅くなるといったお知らせを現地からできるのも便利です。

### ご利用中の掲示板システムで課題はありましたか？

20 年以上前に導入したもので、スマホ表示に最適化されておらず見づらいです。システム自体は機能が増えたり、スマホ対応にしたりできるようなのですが、導入当時の担当者が退職しておりサポートもすでに切れているため、あまりカスタマイズということもできず使ってきました。

生徒と保護者にそれぞれ ID とパスワードをお知らせするのですが、誰がログインしたかなどはわかりません。コロナで卒業式が動画配信となった際に、パスワードが分からないと言ってきた保護者が結構いて、3 年間閲覧しないままの方もいるとはじめて気づきました。Connect 一本化によって保護者も閲覧しやすくなると思います。

## 06 請求のすべてを事務室で把握・管理することができます。

### Connect の申込機能はどういったことにご利用ですか？

土曜日に開講している、生徒が各自で申し込みをする、探求系の講座があるので、その申込に利用するよう移行段階です。

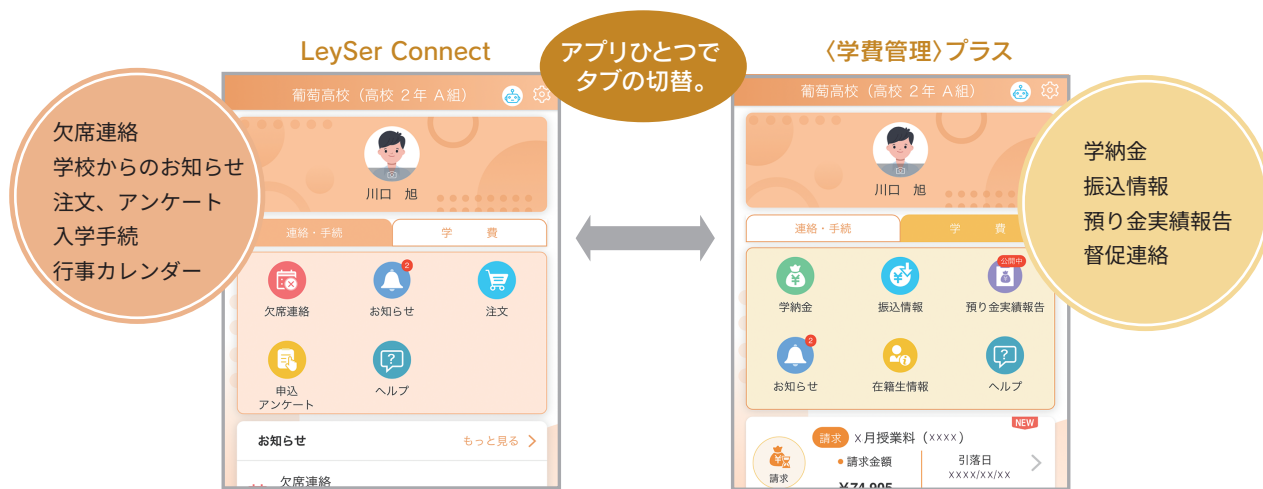
これまでは講座を開設する担当教員が Google フォームで申込受付し、有料講座であればその情報を集金業務に特化したシステムに入力し請求書を発行して、徴収まで行うマンパワーに頼っていました。教員の負担も大きいですし、事務のほうでも学期末になってから未収金が発覚して慌てて督促するということが多々ありました。

Connect でも申込するのは生徒、支払いは保護者ということになりますが、申込情報は保護者もアプリ内で確認できます。学校としては申込情報と〈学費管理〉システムが連携して、口座振替一本で集金できるという点がよいと思います。ただ、残金不足で肝心の学納金が引き落としできないのは困るので、学納金と合算ではなく引き落とし日をずらした徴収がいいと思っています。

### 〈学費管理〉プラスも導入いただけていますが、学納金情報を配信されていますか？

はい、〈学費管理〉プラスを導入してから、学納金に関するお知らせもアプリで連絡しています。これまでは督促状を紙で出力して中学生は自宅に郵送ですが、高校生は担任から生徒に渡してもらうので、封入したら担任の先生を探してお願いしてまわる必要がありました。お金のこと、しかも未納というデリケートなことなので、誤送付や渡し間違いがないかと心配でした。生徒に渡すこと自体を嫌がる保護者もいらっしゃるし、生徒から保護者に渡されていないということもあるので、アプリ通知できるようになってよかったです。督促状だけでなく、就学支援金の結果なども一部ペーパーレス化し、紙との使い分けをしています。

また、保護者へのお知らせを事務だけで完結できるという点もよいと思います。これまではネット掲示板への投稿も事務にはできなかつたため、学納金に関するお知らせも操作できる先生に何時にあげてくださいというのをお願いする必要があつたのですが、クリックですぐに配信できるので助かっています。



### 保護者への説明はどうされましたか？

導入初年度なので、保護者にきちんと伝えるにはどうすべきかを学内でいろいろ相談しました。5月にPTA総会と学級懇談会があり6割ほどの保護者が参加されるので、そこに向けて説明用紙を準備しました。メシウスさんから操作手順書を提供してもらっていたので、それを参考に1枚にまとめて、操作として問題ないかはメシウスのインストラクターの方に確認してもらいました。先生によっては、学校にいる間に設定していただくよう保護者に促してくださったようです。保護者の多くはアプリ操作にも慣れていて、大半の方は問題なく設定していただけたようです。

設定されていない保護者はシステムの一覧からわかるので、催促の通知を出して設定率をあげました。通知書は生徒に渡したり、郵送したりしました。設定を終えていないのは残り数名ほどです。

### 生徒にも利用してもらっているのでしょうか？

導入当初は欠席連絡の機能だけを使うつもりでしたし、欠席連絡は保護者にだけ行ってもらうので、生徒の利用は考えていませんでした。しかし、ネット掲示板の代わりに Connect のお知らせ機能、Google フォームの代わりに申込機能も利用できるとわかったので、生徒にも使ってもらうことにしました。

入学時に全生徒に授業で使うための Chromebook を購入してもらい、学校のドメインを発行しているということもあって、生徒の利用はスムーズに開始できました。校内でスマホ利用は禁止していますが、Connect に通学バスの時刻表を公開しており、時刻変更があった際も確認できるようにしているので、個人スマホにも設定している生徒もいます。

新年度からは生徒手帳の内容も Connect から閲覧できるように準備を進めています。

生徒のほうが断然アプリには強いですし、親に操作を教えてくれるということもあるようです。保護者と生徒で同じアプリだとそういう利点もあり、かつ欠席連絡は保護者だけ使えると機能によって制御できるのもよいと思います。

情報の授業内で設定する時間を設けたこともあり、生徒は問題なく使えています。



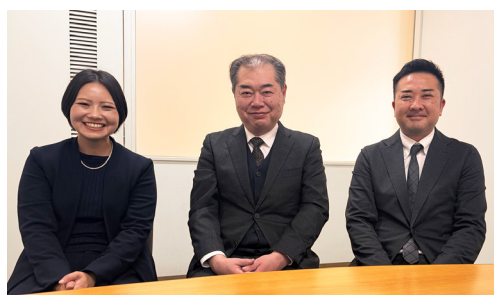
システム全般を担われている  
情報主任の印東先生

## 08 業務負担が減ることによって次のステップを検討できます。

### Connect でほかに利用を予定されている機能はありますか？

今春に早速、入学手续を使ってみようと思います。これまでは、アレルギーや通学経路の調査書は用紙提出だったので、登校日に用紙を渡して後日郵送してもらうという形をとっていました。アレルギーに関しては養護教員から早めに情報がほしいと言われていたので、アプリ提出によってそれが解決できると思います。保護者がアプリで口座情報を読み取ることで、〈学費管理〉システムにその情報を取り込めるということで、口座情報についても回収や入力業務の負担が減ると期待しています。

朝の電話対応もそうですが、これまで対応可能であった業務であっても、システム化による効率化は重要だと感じています。業務に携わる者が誰でもシステムを操作できれば作業分担もしやすくなりますし、空いた時間でほかにするべきことを考える余裕もできます。



担任の先生たちも朝教室に行ってから、欠席連絡を閲覧しつつ、実際に登校している生徒の顔と照らし合わせできるようになりました。

### レーザーのサポートなどについてご感想があればお願いします。

生徒数が多いので影響の大きさを考えても、都度いろいろ確認しながら慎重に進めていく必要がありましたが、導入インストラクターの方にも電話サポートの方にも根気よくお付き合いいただき感謝しています。今でもサポートには日々問合せさせていただきお世話になっています。営業担当の方からは他製品も紹介いただけるのでありがたいです。すでにシステムは使っていても見直しをかけるタイミングだったり、解決すべき課題を抱えていたりもするので、気軽にコンタクトとっていただけるので相談しやすいです。



豊かな自然に囲まれた広大なキャンパス。県下有数の最新教育施設を備えた八千代松陰中学・高等学校。「さわやかな印象」「はつらつとした行動」「ひたむきな姿勢」をスクールカラーとして生徒一人ひとりの「持ち味を生かす教育」を行っています。